

# 10人の議員が市政を問う 一般質問

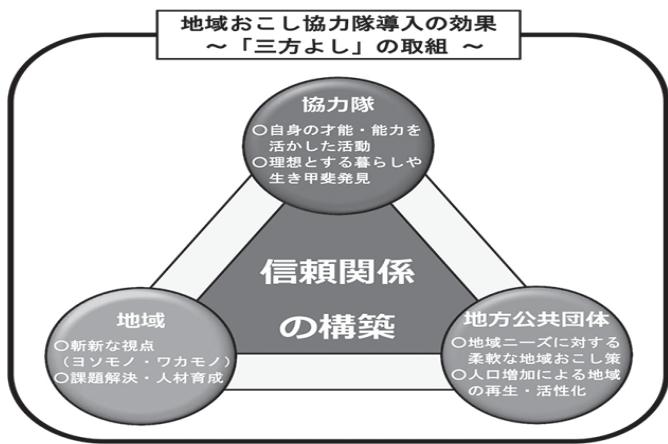
- 1 竹原真理子 「地域おこし協力隊を活用した地域活性化を」 …P10
  - 2 五嶋 義行 「民事・住民訴訟の状況は」 …P11
  - 3 園田 浩文 「阿蘇の美しい地下水を守るために」 …P11
  - 4 菊池 勝秀 「買い物困難者等の解消に向けた移動販売の充実を」 …P12
  - 5 甲斐純一郎 「アゼリア21を健康増進と観光レジャーの拠点に」 …P12
  - 6 市原 正 「一の宮地域の今後の観光施策は」 …P13
  - 7 杉谷 保信 「育児放棄（ネグレクト）及び虐待への対応は」 …P13
  - 8 竹原 祐一 「新規自衛官募集への個人情報提供は」 …P14
  - 9 立石 昭夫 「危険空き家等除却推進事業は」 …P14
  - 10 児玉 正孝 「カーボンニュートラルへの取組みは」 …P15

**石松まちづくり課長** 地域おこし協力隊制度は、総務省で平成21年度に創設され、都市部から地方に住民票を移し、住民の支援等を行い地域力の維持と強化を図る取組みです。移住定住、観光、教育、子育てなどの分野で活用されています。メリットとしては、隊員の技術や経験を活かした地域おこしに取り組めることや、任期を終えた隊員がその地域に定住するなど、様々な面で地域活性化に繋がっていることです。また財源は、活動に関する経費などに対し国の特別交付税措置が受けられます。

各地の「地域おこし協力隊」による様々な活動が紹介されている。協力隊の導入は、近隣の南小国町、産山村、高森町、南阿蘇村で行われており、大津町、菊陽町、菊池市など人口の多い自治体でも導入されている。これまで阿蘇市では本制度を導入していないが、協力隊に対するメリット・デメリットをどのように捉えているか。



竹原真理子



## 地域おこし協力隊制度のイメージ

竹原 隊員になる方は、20代から40代の若い男女が多く、定住すれば人口も増え、空き家問題や過疎化への対策にも繋がると思う。導入に向けた施策は講じられないか。

**まちづくり課長** 必要な人材の確保については、先般策定されました「阿蘇市パブリック・リレーションズ事業推進計画」に沿って段階を踏んで検討します。

地域おこし協力隊を活用した地域活性化を

# 民事・住民訴訟の状況は



五嶋 義行

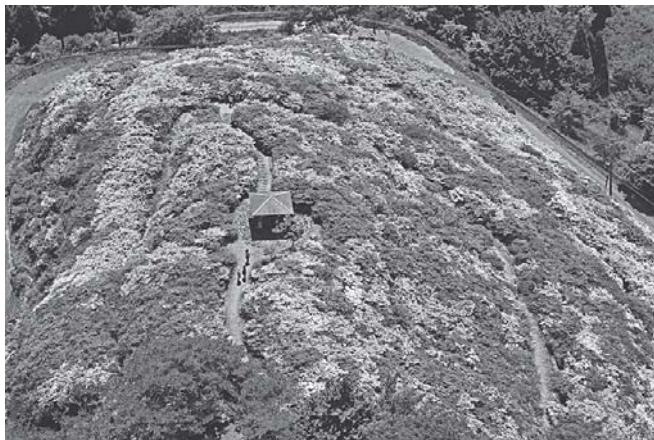
これまで5回開催され、6回までの日程が決まっています。

## 長寿ヶ丘公園の整備について

五嶋 長寿ヶ丘公園への道路拡張工事が止まっているが、今後の計画はどうなっているか。

### 中本建設課長

整備工事は、町村合併後の平成18年度から平成24年度まで継続して進めていましたが、平成24年の水害と、その後の熊本地震の影響で休止しています。10年以上経過しておりますので、地元と協議して進めます。



長寿ヶ丘公園のつづじ

和田副市長 訴訟手続きについて  
五嶋 現在係争中の住民訴訟について、住民訴訟は、住民監査請求を経て訴訟を起こすもので、非常にハードルが高いと言わざるを得ない。原告の一人は、「議会が機能していないから、我々が高い金を出して訴訟を起さなければならなかつた。」また、「もつと議員さんも勉強してください。」と非常に耳に痛いことを言われた。私も当時の議員の一人として反省せざるを得ないと思つてはいるが、市は訴訟の重みをどの様に受け止めているか。

和田副市長 訴訟手続きについて  
五嶋 現在の裁判の状況は。

和田副市長 昨年3月に提訴され、口頭弁論が1回、弁論準備手続きはこ

# 阿蘇の美しい地下水を守るために



園田 浩文

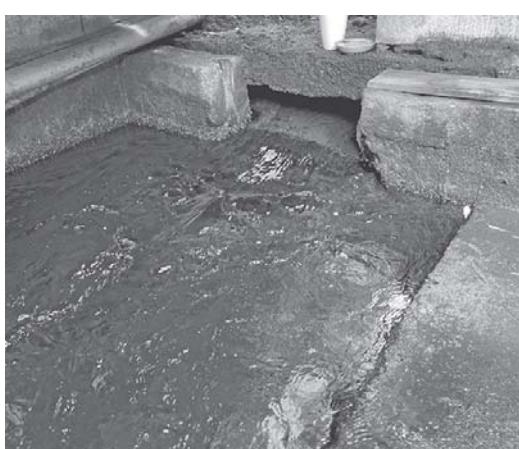
コロナ収束後の持続可能な地域医療体制の確立に向けて

## 園田 菊陽町で来年末から操業を開始するTSMCは、1日当たり1万2千トンの地下水を使用する。約7割は再利用されるようだが、今後影響が心配される市内上水道の水源数、水深、供給世帯数、1日当たりの使用数量は。

竹原上下水道課長 市内の水源は25箇所、その内18箇所が深井戸、残りは湧き水となっています。水源の深さは80mから120mで供給世帯数は約1万世帯、1日の供給水量は約1万トンです。

園田 TSMCは第2工場の建設も予定されている。操業により、阿蘇の地下水に影響する様な事態に繋がらないか心配している。観測井戸等の検討と対策は。

村上住環境課長 地下水保全については、地下水保全条例に基づく適切な運用を図り、地下水に関しては県が設置しています観測井戸（水深120m）などから、水質、水量等を注視していきます。



自噴する阿蘇の地下水

村山医療センター事務部長 開院当初常勤医師3名での対応でしたが現在は常勤医12名、非常勤医師30名を超えて対応しています。今後も熊大病院等の支援を受けながら、救急医療機能、脳疾患・心疾患治療体制検診業務の充実と多職種協働のチーム医療で経営の改善に努めます。

園田 がん疾患者への対応状況は開院している患者さんが十数名おられます。がん相談支援センターでは毎月20件程の相談に対応しています。

園田 がん化学療法で通院されている患者さんが十数名おられます。がん相談支援センターでは毎月20件程の相談に対応しています。

# 買い物困難者等の解消に向けた移動販売の充実を



菊池 勝秀

## 災害に強い「防災阿蘇市」の確立を

**菊池** 今後、想定を超える自然災害や巨大地震も予想され、11年前の豪雨や7年前の熊本地震により甚大な被害を受けた本市として、次に備える体制づくりが必要と考える。早急に「阿蘇市防災士連絡協議会」を発足させ、知識・スキル向上研修等のほか、地区防災組織も活用し、各行政区に防災知識をもつたアドバイザーを育成してはどうか。

**市原防災情報課長** 協議会の必要性等は認識しており、立ち上げに向けて検討していきます。

他に「遊水池の今後の整備予定について」の質問がありました。



買い物不便地域を巡る移動販売車



甲斐純一郎

**甲斐** 阿蘇市における健康増進の有効性と地域振興策の一環として慎重に検討して頂きたい。

最後に、アゼリア21プール存続を願う会と署名した7千人の思いは、

当初から阿蘇市の健康増進複合施設と地域振興策の推進を望む声であるとお伝えしたい。市の見解を。

**和田副市長** 存続を願う会の皆様とは、これまで3回お会いしてご意見を伺っています。現在、教育委員会から市長部局に検討部署を替えて慎重に審議しています。

# アゼリア21を健康増進と観光レジャーの拠点に

**甲斐** アゼリア21検討委員会から答申について概要説明を。

**山口教育部長** 施設の方向性を検討する際に「公共施設としての必要性」「住民の理解と協力」「財政支出の抑制」の3つ観点から議論されました。答申は「営業に必要な改修投資を行い、温泉施設と冷水プールの複合施設として存続することが現時点の代替案と思われる。その際利用料金見直しを行うなど投資額の回収見込みを立てること、年間の赤字がさらに続き、財政に影響がある時は、早期に民間売買等の検討も行うべき。」との内容でした。

**甲斐** 私は、施設を阿蘇市の経済活性化のための地域振興策として、有効活用することを主に6つの提案をしたい。

- ①健康増進複合施設として活用
- ②アゼリアを学校授業で活用
- ③県内スイミングクラブとの連携
- ④移住定住希望者向けのPR
- ⑤利用料金の見直しと会員加入の呼び掛けの協力



利活用が期待される「アゼリア21」

**菊池** 主要駅や道の駅にモニターを設置し火口のライブ映像や「火口見学できます」等を画面配信してはどうか。見学者の増加にも繋がるが。阿蘇火山博物館が所有する火口ライブ映像は、火口が見学できない人向けて放映されています。ガス規制の情報が入手できるQRコードの配布を急ぎ進めています。

## 秦觀光課長 もつと「阿蘇火口」のPRを

**菊池** 買い物支援の充実に向け、今後、関係部署間で連携して検討を進めます。

**菊池** 本市の65歳以上の高齢者率は「40.4%」（令和2年国勢調査）で、車の免許証返納も毎年約90名いる。返納者から「買い物が不便」との声が多く、当面の対策として移動販売車による食品や日用品等販売エリアを拡大してはどうか。特にスーパー等がない阿蘇西部地区は深刻な課題である。寄贈等で車を準備し、地元スーパー等に委託する方法は考えられないか。

## 石松まちづくり課長 西部地区的PRを

**菊池** 買い物支援の充実に向け、今後、関係部署間で連携して検討を進めます。

# 一の宮地域の今後の観光施策は



市原 正

**市原** 群生地の保護は、環境省や市の役割である。害虫駆除、株分け肥料散布などをしっかりとやってほしい。

**観光課長** 環境省とも協議して、前向きに対応したいと思います。

**市原** 補正予算で500万円が計上されている阿蘇神社楼門完成に合わせたイベント関係事業については具体的な内容が示されていない状態で予算計上に至っている。反対する意向であつたが、楼門の完成まで6か月しかないため、やむを得ず予算には賛成した。

本件に対する経済部長の見解は。

**藤田経済部長** 議員ご指摘のとおり、事前に詳しい内容を決めてお諮りするべきでした。今回の件を重く受け止め、今後、適切な事業内容の説明に努めます。

**市原** 次に、仙酔峡のミヤマキリシマは以前のようなピンク色の花が見られず、地元の方々から心配する声が寄せられている。観光課の見解と対策は。

**秦觀光課長**

主要な要因として害虫被害が考えられます。これまで害虫の発生が少なかつたことから、9年間薬剤散布を行つていませんが、来年に向け、害虫防除に関する現地調査を考えてています。



復旧が進む阿蘇神社楼門

# 育児放棄(ネグレクト)及び虐待への対応は



杉谷 保信

ウンセラーや配置への対応は。

**藤井教育課長** 県が設置するスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の専門家の支援を受けて、不登校児童のケアに取組んでいます。長期欠席になる前に相談等のできる場所として、旧中通小学校に教育支援センター「ほつとスクールASO」を設置しており、5名の指導員が学習の支援、面談、家庭訪問など、きめ細やかな対応を行っています。

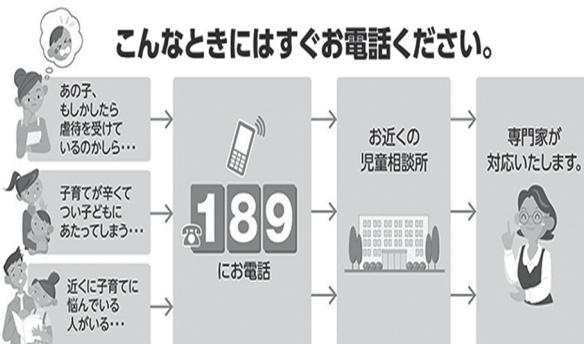
**松岡福祉課長** 家庭での虐待が疑われ、学校や保育園で緊急性や重篤性があると判断した場合は、直接児童相談所に通告します。その後、児童相談所から市の関係部署へ連絡が来るようになっています。

市では、福祉課、教育課、健康増進課の3課が連携し、児童虐待の未然防止と支援に向けた取組みを進めています。

**杉谷** 児童相談所が子供を保護する基準は。また、兄弟がいる場合の対応は。

**福祉課長** まずは、子供の安全確保が第一となります。通告後は状況による対応・判断となり、必要に応じ児童相談所の権限で一時保護をする形となります。兄弟姉妹がいる場合は、家庭状況等を考慮し本人の意思も確認したうえで、保護する場合もあります。

**杉谷** 不登校児童に対する学校力



児童相談所虐待対応ダイヤル「189」

他に「フリースクールについて」、「里親制度について」の質問がありました。

# 新規自衛官募集への個人情報提供は



竹原祐一

**竹原** いくつかの自治体では、本人・保護者が申請をすれば対象から削除できる「除外申請制度」を設けている。阿蘇市でも導入できないか。防災情報課長 今後、除外申請の制度化を検討し、導入を進めていかねばと考えています。

## 「住民訴訟裁判」について

**竹原** 裁判結審後、判決を不服とした場合、また市民の税金を使い控訴を行うのか。

**和田副市長** 仮定の話はできませんでしたが、判決の内容などを精査し検討することになると思います。

**竹原** 他に「学校給食無償化の実現を」、「無料低額診療事業について」の質問がありました。



自衛官募集のポスター

# 危険空き家等除却推進事業は



立石昭夫

**防災情報課長** 今回の法改正により、管理不全空き家という定義を設定できます。今後国からのガイドラインを受け、空き家等の除却を推進していきます。

## 立石

危険空き家に該当する物件数と、今年度予定している危険空き家除却推進事業の件数は。

**市原防災情報課長** 平成29年度から令和4年度までの相談件数は約140件です。補助金の上限額を1軒当たり60万円とし、今年度は5軒分を見込み、予算300万円を確保して対応する予定です。

## 立石

解体後に更地とした場合は固定資産税が増税となり、危険空き家の撤去が進まない事も懸念される。他の自治体では増税分を数年間免除する動きも見られるが、今後の市の対応は。

## 立石

解体後に更地とした場合は固定資産税が増税となり、危険空き家の撤去が進まない事も懸念される。他の自治体では増税分を数年間免除する動きも見られるが、今後の市の対応は。

## 上村税務課長

独自の制度を設けている自治体もあるようですが、他自治体の動向を注視していきたいと思います。

## 立石

本年3月7日に改正空き家対策特別措置法が可決・成立した。これにより、国の指針に基づき物件の段階まで進んだ場合、税の軽減対象から外すことができる。この制度

## 空き家の課税強化のイメージ



**防災情報課長** 他に「豊肥本線復興エリア活性化事業について」の質問がありました。

# カーボンニュートラルへの取組みは



児玉正孝

**児玉** 「第3次阿蘇市地球温暖化対策実行計画」の概要は、市業務上で発生する温室効果ガスの削減目標として、2030年までに40%削減を掲げていますが、環境変化等により、目標に対して10%程しか達成していない状況です。今後、施設のLED化等を進め、併せて空調や公用車の次世代自動車導入等も進める予定です。

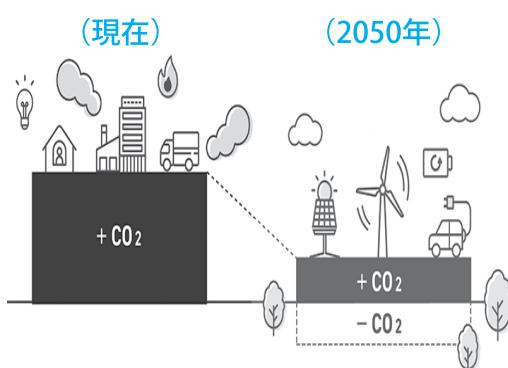
**佐伯農政課長** 草原が長期にわたって野焼きで維持されてきた事で優れた炭素蓄積能力があります。また、国内の温室効果ガス吸収量の内森林の吸収量は約90%を占めています。耕作放棄地の解消や堆肥化の推進で環境負荷低減に取組んでいきます。

**児玉** 防犯灯のLED化の状況は、各地区の協力を得て防犯灯約50%のLED化が進んでいます。電気料金も年間100万円ほど削減されています。

**和田副市長** 国は再生可能エネルギーとして太陽光発電等を進めるが、阿蘇に適していないとのことです。国や県では、世界文化遺産を目指すため、景観保全に対する規制の動きがあります。国県の規制の状況を見たうえで、市としても必要な対策を検討します。

**児玉** 公用車のエコカー導入は、約170台の公用車のうち、電気自動車3台、ハイブリッド車3台です。更新時には軽のエコカーなどを検討するよう全庁に通知しています。

**児玉** 草原はCO<sub>2</sub>の吸収力に優れておりカーボンニュートラルに大きく寄与していると言われています。



カーボンニュートラルのイメージ

## ＼傍聴してみませんか／



阿蘇市議会 次回開催予定



| 定例会                 | 会期日程                     | 一般質問               |
|---------------------|--------------------------|--------------------|
| 令和5年<br>第5回<br>(9月) | 9月1日(金)<br>～<br>9月21日(木) | 9月19日(火)<br>20日(水) |

※正式な日程は、議会運営委員会で決定次第、お知らせ端末やホームページで改めてお知らせします。日程の変更や、場合によっては傍聴を制限する場合があります。